

「2019年度L2-Tech水準表(素案)」に対する御意見の概要と御意見に対する回答

資料7

※御意見の全体像が分かるように、代表的なものを抽出し整理しております。

※意見の概要に記載された内容は、基本的にいただいた御意見から抜粋(または、要約)したのですが、明らかな誤字や変換ミスについては修正しております。

#	L2-TechリストNo.	設備・機器等の名称	カテゴリ	御意見の概要	御意見に対する回答
1	L-000935	パッケージエアコン(設備用)	計算方法・試験条件の妥当性	計算方法・試験条件に記載されている準拠する規格は『JIS B8616 2015』ではなく『JIS B8616 2015 または JRA 4002 2016』ではないか。	2019年度L2-Tech水準表への反映に向けて検討いたしましたが、本御意見については、別途情報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認等が必要と判断いたしました。調査及び業界団体への確認等進めてまいります。来年度のL2-Techリスト及び水準表に掲載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。
2	L-000943	空冷ヒートポンプチャラー	計算方法・試験条件の妥当性	計算方法・試験条件に記載されている準拠する規格は『JIS B8613 1994 または JRA 4066 2014』ではなく『JRA 4066 2014』ではないか。(チャラーユニットのIPLVはJISではなくJRAで規定されているため。)	2019年度L2-Tech水準表への反映に向けて検討いたしましたが、本御意見については、別途情報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認等が必要と判断いたしました。調査及び業界団体への確認等進めてまいります。来年度のL2-Techリスト及び水準表に掲載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。
3	L-000988	LED照明器具	水準の妥当性	L2-Tech水準表情報No.S-005498に該当する製品はすでに販売されており、L2-Tech水準を「200.5lm/W」として追加可能である。	当該クラスについて、性能値を再調査し、L2-Tech水準を設定しました。
4	L-000960	高温水ヒートポンプ(水熱源・一過式)	水準の妥当性	L2-Tech水準表情報No.S-005782のL2-Tech水準は「6.2」である。	当該クラスについて、性能値を再調査し、L2-Tech水準を設定しました。
5	L-000960	高温水ヒートポンプ(水熱源・一過式)	水準の妥当性	L2-Tech水準表情報No.S-005783のL2-Tech水準は「4.6」である。	当該クラスについて、性能値を再調査し、L2-Tech水準を設定しました。
6	L-001120	Low-E複層ガラス・樹脂サッシ	水準の妥当性	L2-Tech水準表情報No.S-004949のL2-Tech水準は「1.27」である。	当該クラスについて、性能値を再調査し、L2-Tech水準を設定しました。
7	L-001120	Low-E複層ガラス・樹脂サッシ	水準の妥当性	L2-Tech水準表情報No.S-004947のL2-Tech水準は「1.27」である。	当該クラスについて、性能値を再調査し、L2-Tech水準を設定しました。
8	L-001127	金属製玄関ドア	原理しくみの妥当性	原理・しくみは、『住宅の玄関に使用する、アルミニウムまたはスチールを主材料としたドア。枠と扉を断熱構造にする事で、室内側の結露の発生が軽減でき、断熱性を向上できる。』が適切である。現在記載されている構造は一例であり、製品の条件ではない。	原理・しくみを「住宅の玄関に使用する、アルミニウムまたはスチールを主材料としたドア。樹脂を枠の一部に使用し、断熱材を枠や扉に充填することにより、玄関ドアの熱貫流率を低くすることができる。熱貫流率が低い製品ほど冷暖房負荷及びCO2排出量を削減できる。」として見直しいたします。ただし、システムの都合上、定義の更新は次年度にて対応予定です。
9	L-000981	燃料電池コージェネレーション	クラスの妥当性	現在の水準表ではりん酸形燃料電池(PAFC)のみ設定されている。固体酸化物燃料電池(SOFC)を条件とするクラスを追加すべきである。	ご意見の内容は、重要技術分野提案で御提案頂ければ幸いです。現在、来年度のL2-Techリストや水準表の更新に向けた提案を情報提供プラットフォームより受け付けております。
10	L-000964	熱風ヒートポンプ(水熱源・一過/循環式)	設備・機器等の名称	設備・機器等の名称「熱風ヒートポンプ(水熱源・一過/循環式)」は「熱風ヒートポンプ(水熱源・一過式)」及び「熱風ヒートポンプ(水熱源・循環式)」に分割すべきである。	当該設備・機器等については、今年度におけるクラス見直しに伴い、「熱風ヒートポンプ(水熱源・一過式)」及び「熱風ヒートポンプ(水熱源・循環式)」として分割の予定です。ただし、システムの都合上、分割は次年度にて対応予定です。
11	L-000986	冷凍冷蔵倉庫用自然冷媒冷凍機(アンモニア/CO2二次冷媒システム)	水準の妥当性	L2-Tech水準表情報No.S-005543に該当する製品はすでに販売されており、L2-Tech水準を「3.15」として追加可能である。	当該クラスについて、性能値を再調査し、L2-Tech水準を設定しました。